

事業報告

2022年4月1日より2023年3月31日までの事業概略をご報告します

当協会の概況

2022年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染の影響下にありましたが、さまざまに工夫を凝らし、当協会の主な事業である育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました

育英事業の一つである「国際瀧富士美術賞」は2年連続で授賞式を中止していましたが、2022年度は国内受賞学生のみ、クレーレ熱海ゆがわら工房見学と授賞式を実施し、パブリックアート制作の様子を学び、受賞を祝いました。パブリックアート普及事業においては2022年で50年目を迎えたことから、記念誌の発刊、記念シンポジウムの実施、制作設置にご理解・ご協力頂いた関係者の方々へのお礼の会を実施いたしました

また2022年は鉄道開業150周年にあたり、国土交通省はじめ関係諸団体や鉄道事業者各社と連携・協力し、記念式典でパブリックアートをPRしました

本年度の活動内容を項目ごとにご説明します。

I. 公益事業

1. 育英事業

(1) 瀧富士基金

日本の将来を担う若者を育てるための「瀧富士基金」第56期奨学生を募集しました。8月31日の選考委員会での厳正な審査の結果、32人の奨学生が新たに決まり、また卒業を迎える奨学生のうち特に成績優秀な学生の中から、奨学金の全額、または一部の返還を免除する給費生12人を選びました。このほか奨学金を増額する特待生には10人が選ばれました

基金創設以来の受給者は1983人、給貸与総額は23億5000万円で、うち給費生は275人で2億9800万円となりました

(2) 国際瀧富士美術賞

第一次審査を7月20日に、本審査を9月12日に開催し、厳正な審査の結果、

国内 13 美大 15 人、海外 7 カ国 8 美大 8 人の計 23 人の受賞者を選びました
国内最優秀者のグランプリには広島市立大学の鬼河ひなたさん、海外最優秀者の国際グランプリには独シュトゥットガルト公立美術アカデミーのルーカス・ヘンゲルハウプトさんが受賞しました。コロナウイルスの感染状況をみつつ、国内受賞学生と指導教員をクレアーレ熱海ゆがわら工房見学と授賞式に招待しました。工房でパブリックアートの制作過程を学び、授賞式・懇親会では受賞作品の説明や卒業制作・今後の目標を紹介するなど、学生や教員同士で大学の垣根を超えた和やかな交流の場となりました

2. 展覧会事業

(1) 交通総合文化展

第 69 回「交通総合文化展 2022」を 10 月 19 日（水）から 10 月 24 日（月）までの 6 日間、JR 上野駅の中央改札口外コンコースの特設会場で開催しました。本年度も写真（新日本観光写真）と俳句の 2 部門を全国公募し、写真約 1,000 点、俳句約 4,000 点の応募があり、審査を経て写真 31 点、俳句 16 点の上位作品を会場で展示し、また現代日本を代表する日本画、洋画、書の作家グループ「潮瀧会」による 23 点の新作を展示しました

「パブリックアート普及活動特別展」では、設置 50 年を記念して全国に設置してきた代表的作品 50 点を紹介、また 1%フォー・アートの理解に向けて、有識者のインタビューを掲示しました

招待作家のコーナーでは国際瀧富士美術賞の若手受賞者で彫刻家の小見拓さん（第 37 期）に、クレアーレ熱海ゆがわら工房の協力の元、ステンドグラスを使用したパブリックアート作品を制作して頂きました

なお本事業は鉄道の日（10 月 14 日）関連事業ですが、2022 年は鉄道開業 150 年の年であり、展示の中でも関連表示を行いました

今回もコロナ感染予防を徹底して運営しましたが、会場には多くの方が来場され、コロナ禍で出向く機会が減っている中で気軽に文化芸術に触れる良い機会であるなど、アンケート調査で高評価をいただきました

(2) 「原宿ファッションジョイボード文化展」

JR 原宿駅の大型看板 12 面を使った「原宿ファッションジョイボード文化展」では、「IT を守る、育てる、“頼れる IT 社会” の実現を目指して」キャンペーンを前年度に引き続き開催しました

3. パブリックアート普及・振興事業

(1)パブリックアートの制作・設置

2022年度は一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業の助成を受けた作品は1カ所、またこれ以外にも東京藝術大学国際交流棟「Hisao & Hiroko TAKI PLAZA」に設置された陶板レリーフ作品など、多数のパブリックアートにかかわりました
当協会は1972年からパブリックアート制作・設置を進めて2022年に50年目を迎え、2023年3月末で556作品となりました

宝くじ協会の助成を受けた作品は以下です

- ① ステンドグラス「ジュラシックえちぜん」
設置場所：えちぜん鉄道 福井駅 改札口横
原画作家：画家 絹谷幸二
公開日：2023年3月12日
寄贈先：えちぜん鉄道株式会社

その他の作品は以下です。

- ② 金属モニュメント「昇（しょう） ～希望に向かって～」
設置場所：帝京大学 八王子キャンパス
制作：金工作家 宮田亮平
公開日：2022年5月17日
- ③ 陶板レリーフ「留学生交流パブリックアート」（一期分）
設置場所：東京藝術大学 上野キャンパス 国際交流棟
「Hisao & Hiroko TAKI PLAZA」
総合ディレクション：日比野克彦
デザイン・制作：東京藝術大学 留学生、留学生 OB
公開日：2022年12月15日
- ④ ステンドグラス「紅白蓮華図」
設置場所：成田山 東京別院 深川不動堂 内仏殿
原画作家：日本画家 中島千波
完成：2022年12月

⑤ 陶板レリーフ「明日の空」

設置場所：飯塚市総合体育館 エントランスホール

原画・制作：洋画家 野見山暁治 協力：飯塚市小学生

完成：2023年3月

(2) パブリックアートの普及、および「1%フォー・アート」の法制化への理解に向けたPR・広報活動

① 上野駅での交通総合文化展で「パブリックアート普及活動特別展」を開催し、パブリックアートの意義と役割、1%フォー・アートの法制化の必要性を知ってもらうための関連展示を行い、その普及、振興に努めました

② 国際瀧富士美術賞第37期受賞者の彫刻家小見拓さんにステンドグラスのパブリックアート作品を制作して頂き、上野駅の交通総合文化展で展示しました

③ パブリックアート50周年記念誌発刊

2022年にパブリックアートを設置して50年を迎えることから2021年度より企画を進めて2022年11月に発刊、関係者へ配布すると共に、パブリックアートの理解増進のために活用しています

④ 「パブリックアート50周年記念の集い」の実施

パブリックアート50周年を大きな節目として、シンポジウムとお礼の会の2部構成で、11月30日東京会館にて記念の集いを実施しました

第一部 シンポジウム「パブリックアートと『1%フォー・アート』~文化による日本創造に向けて」

基調講演 東京都美術館 館長 高橋明也氏

プレゼンテーション「いかにアートを社会に実装していくか？」

桜美林大学 客員教授 二之湯武史氏

パネルディスカッション

建築家 隈研吾氏

多摩美術大学 環境デザイン学科教授 湯澤幸子氏

高橋明也氏

二之湯武史氏

モデレーター 毎日新聞大阪本社 学芸部長 岸桂子氏

第二部 お礼の会

出席者：90名 制作・設置にご理解・ご協力頂いた関係者の方々

シンポジウムは一般紙、美術系専門紙誌で報道され、パブリックアートならびに1%フォー・アートの法制化への理解促進の一助となりました

- ⑤ 鉄道開業 150 周年記念式典用のパブリックアート PR 動画の制作・放映
10 月 6 日東京ステーションホテルで実施された両陛下ご臨席の式典で、開始前に式典出席者向けにパブリックアート紹介動画を放映しました。国土交通省から要請されたもので、パブリックアートが鉄道の発展と共に全国の駅空間に設置され、潤いをもたらせてきた風景を紹介する内容となっています
- ⑥ 小中学生にパブリックアートを理解してもらうために、産経こどもニュースを活用して、全国 2,000 校の学校掲示板に設置してきたパブリックアートに関する話題を 3 回シリーズで掲出しました

4. 出版・PR活動

- (1) 「くれあーれにゅーす」15 号を 8 月 23 日に発行しました。この号では「21 世紀の都市のあり方を考える 「豊島区」文化によるまちづくり」をテーマに座談会を特集しました

座談会出席者：豊島区長 高野之夫氏

建築家 隈研吾氏

(株) サンシャインシティ 代表取締役社長 合場直人氏

当協会理事長 滝久雄

- (2) メディア対応の強化

パブリックアートの設置については除幕式での披露に加え、作家の工房訪問などの機会も捉えて PR をしました

パブリックアート 50 年記念シンポジウムは一般紙の文化部や美術系紙誌記者を招待して記事化に繋げました

また充実させてきた協会のホームページを通じて取材や掲載許可の要望も増加し、積極的に対応しました

5. 日本の文化芸術の普及振興を兼ねた国際交流促進事業

交通総合文化展の展示を通して、在日外国人を含め日本の自然や風土の素晴らしさを知ってもらうとともに、日本のさまざまな文化芸術を紹介しました

II. 収益事業

1. 環境芸術にかかわる各種コンサルティング事業

公共スペースに設置する陶板レリーフ、ステンドグラスなどのパブリックアート作品の制作について、各種のコンサルティングを行い、収入を得ました

2. 不動産などの賃貸業

当協会が保有している不動産や、工房等（クレーレ熱海ゆがわら工房、信楽工房等）の施設を企業に賃貸し、収入を得ました